

AKIHO TSUJII SOPRANO RECITAL

つじいあきほ
辻井亜季穂
ソプラノリサイタル

PROGRAMME

モーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》より
「残酷ですって?...言わないで、いとし人」
ヴェルディ《リゴレット》より
「いとしい御名」
ヴェルディ《椿姫》より「いつも自由で」
プッチーニ《ラ・ボエーム》より
「私の名はミミ」「ああ、麗しの乙女よ」
ビゼー《カルメン》より「母の便りを」
歌曲:「野ばら」「美しき五月に」
「くちなし」「母」ほか

都合によりプログラムを一部変更する
場合があります。予めご了承ください

鑑賞の難しいお子様のご入場はお控えください

2025 7月10日 木

18:30開場 19:00開演

名古屋・伏見・電気文化会館
ザコンサートホール

一般4000円 / 学生1000円



ロベルト・オルティス
テノール



高橋早穂子
ピアノ

後援: 名古屋市 / 公益財団法人名古屋市文化振興事業団 / 愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学

チケット取扱い: 愛知芸術文化センター アートプラザ 芸文プレイガイド TEL052-972-0430

名古屋市文化振興事業団 チケットガイド TEL052-249-9387

とぶねこ音楽企画 TEL090-5804-9710(佐藤)



予約用QRコード

待望の辻井亜季穂ソプラノリサイタル。ドイツで活躍中の現役オペラ歌手によるオペラ作品から歌曲の世界まで、必聴の舞台。



辻井 亜季穂 つじい あきほ ソプラノ

2023年よりケムニッツ歌劇場専属。『ホフマン物語』アントニア、『ラ・ボエーム』ミミ、『椿姫』ヴィオレッタ、『カルメン』ミカエラ、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル、『リゴレット』ジルダなどに出演中。2025年8月、エアフルト・ドームシュトゥーフェン音楽祭の『ラ・ボエーム』にミミ役で出演予定。来シーズンには、『道化師』ネッタ役、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ役でのローレルデビューを控えている。

2017年～2023年ヴェルツブルク・マインフランケン劇場、2014年～2017年アルテンブルク・ゲラ劇場に所属し、『ランメルモールのルチア』ルチア、『皇帝ティートの慈悲』セルヴィリア、『ホフマン物語』オリンピア、『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ、『カプレーティ家とモンテッキ家』ジュリエッタ、『魔笛』パミーナ、『リゴレット』ジルダ、『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネッタ、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル、『ニクソンインチャイナ』マダム・マオ、『ラインの黄金』『神々の黄昏』ヴォークリンデ、『コジ・ファン・トゥッテ』デスビーナ、『ばらの騎士』ゾフィー、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『魔弾の射手』エンヒエン、『ドン・パスクアレ』ノリーナなど、その他多数の作品に出演。2022年ヴェルツブルク劇場賞を受賞。アルテンブルク・ゲラでは聴衆の投票で選ばれるテアターオスカー賞を2016年と2017年の2年連続受賞。

在籍する劇場の他に、東京・新国立歌劇場、ダルムシュタット歌劇場、ライプツィヒ歌劇場、ドレスデン(歌劇場、喜歌劇場)、ベルリン・ドイツ・オペラ(カヴァー契約)、グッパタール歌劇場、エアフルト劇場、ドルトムント劇場、ハレ歌劇場、ワイマール歌劇場、マイニンゲン劇場、デッサウ劇場、コッブス劇場、カイザー・スラウテルン劇場、ドルトムントフィルハーモニー、ペオグラード・フィルハーモニックオーケストラ、ドレスデン聖母教会等に客演。

大阪府立夕陽丘高校音楽科卒業。愛知県立芸術大学音楽学部声楽科、同大学院音楽研究科博士前期課程修了後DAAD給費留学生として渡独し、ライプツィヒ音楽演劇大学オペラ科マスターの学位を取得。声楽を、河邊敦子、故・大下久深子、Jeanette Favaro-Reuterの各氏に師事。ドイツ在住。



ロベルト オルティス Roberto Ortiz テノール

メキシコシティでバチエラーを取得後、ロンドン王立音楽院でライランド・デイヴィスに師事し、オペラ科修士号を取得。シュトゥットガルト歌劇場とチューリヒ歌劇場の研修所で研鑽を積み、リチャード・ルイス/ジーン・シャンク歌唱コンクール優勝、モーツァルトコンクール等で受賞。シュルティ財団ほか複数の奨学金を受給。

2016～2024年、ヴェルツブルク・マインフランケン劇場専属歌手。これまでにバロックから現代作品まで40以上の役を演じる。主な役に、ドン・オットヴィオ、フェントン、エドガルド、ロドルフォ、フェランド、レンスキー、アルマヴィーヴァ、ベルモンテ、マントヴァ公、ティトなどを含む。

コンサート歌手としても、ウィグモア・ホール、カーネギーホール、ベルサイユ宮殿などに出演し、宗教曲・歌曲にも幅広く取り組む。教育活動にも力を注ぎ、ドイツ、日本、メキシコで指導経験を持つ。2025年6月、イエーナ・ホーフオペラにてマスネ『テレーズ』のアルマン役で出演予定。



高橋 早紀子 たかはし さきこ ピアノ・企画

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。同大学院音楽研究科修了。在学6年間に北住淳教授に師事し、伴奏や室内楽において声楽・弦・管・打楽器のすべての楽器と共演。大学院修了から3年後にハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学へ留学し、第6回バルトーク国際ピアノコンペティションにおいて特別賞(課題の現代作品における賞)を受賞した。

国内ではこれまでに、グレツキ、プロコフィエフ(1番)、モーツァルト(20番)、シュニッケ、ブラームス(2番)、バルトーク(3番)などを協奏曲ソリストとして演奏。また、国外では今年3月にライプツィヒやウィーンで演奏するなど、活躍の場を広げている。

愛知県立芸術大学主催の教授陣による震災復興支援公演「愛・知・絆」では、故・大下久深子名誉教授の伴奏や、北住淳教授との共演を果たし、どちらも好評を博した。

現在、修文大学短期大学部(2020年ベストティーチャー賞受賞)専任講師および愛知県立芸術大学非常勤講師。



お問合せ・ご予約などは
とぶねこ音楽企画
090-5804-9710(佐藤)

